

附属機関等会議録

令和8年2月2日

会議の名称	令和7年度第2回(通算:57回目)島田市諏訪原城跡整備委員会
開催日時	令和8年1月23日(金) 13時45分から 15時30分まで
開催場所	島田市博物館工作室、諏訪原城跡
会議の議題	《開会》 《部長あいさつ》 《報告事項》 1 令和8年度諏訪原城跡整備事業計画 2 文化庁調査官との打合せについて 《協議事項》 1 令和8年度史跡整備事業について 《現地視察》 令和8年度整備箇所確認
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	
公開の場合の傍聴人の数	0人
出席者の氏名等	整備委員:小和田委員長、加藤委員、中井委員、前田委員、駒形観光文化部長 事務局:松下課長、萩原係長、飯塚主任、清水会計年度任用職員、関根会計年度任用職員、塚本会計年度任用職員

会 議 の 結 果

《開会》

《部長あいさつ》

- ・お忙しい中お集まりいただき、感謝する。本日は協議後に現地視察を予定している。
- ・令和7年度事業の残りの事業としては、2月28日、3月1日に開催される「にっぽん城まつり」の参加がある。こうした取り組みを通じて、諏訪原城の魅力を全国に発信して、さらなる知名度向上に努めていきたいと考えている。
- ・委員の先生方には今後ともご指導、ご協力をお願いしたい。

《報告事項》

- 1 令和8年度諏訪原城跡事業計画（説明:事務局）
- 2 文化庁調査官との打合せについて（説明:事務局）
  - (1) 史跡整備関係
    - ア 二の曲輪中馬出外周園路整備事業
      - ・令和8年度は3か年計画の最後として、園路舗装を実施する。
    - イ 大手曲輪堀整備事業
      - ・北外堀から着手する。
    - ウ 諏訪原城跡整備委員会及び個別指導
      - ・来年度も実施したいと考えている。日程等については後日委員との間で調整をする。
    - エ 諏訪原城跡整備報告書の作成
      - ・平成25年度から令和8年度までの整備事業を対象に作成する。
      - ・内容は整備に伴う発掘調査の概要や考察、二の曲輪北馬出周辺の門や曲輪の整備、園路整備事業についてまとめる。
      - ・河後森城跡整備概要報告書を参考に作成予定。
      - ・文化庁調査官から島田市の文化財保存活用地域計画が12月に認定されたため、地域計画の内容も念頭におきながら事業を進めてほしい。
  - (2) 諏訪原城の活用及び教育普及活動プロモーションについて
    - ア 牧野城御城印の限定販売
      - ・令和8年8月24日前後に販売を予定している。
    - イ 諏訪原城応援隊イベント
      - ・令和8年12月13日に実施を予定している
    - ウ お城EXPO 2026
      - ・令和8年12月にパシフィコ横浜ノースで開催す

- エ 本イベントへ参加する
- エ 諏訪原城グッズの制作
  - ・ Tシャツ、マフラータオル、トートバッグを制作
- オ 諏訪原城跡パンフレットの増刷
- カ 諏訪原城ビジターセンターでの展示コーナーの活用
- キ 諏訪原城に関する出前授業や社会科見学
  - ・ 平均で5～10件の出前授業の申込があるため、適宜対応する。
- ク 「しずおか遺産」構成文化財である諏訪原城を中心とした情報発信
  - ・ 同じテーマの構成文化財を持つ静岡市、藤枝市、焼津市と連携し情報発信を行う。

### (3) その他の事業

- ア 茶園基盤整備事業（諏訪原城周辺）
  - ・ 大手曲輪は基盤整備事業から外れていることもあり、茶園放棄地が増加している。茶畑関係者とも協議を行い、管理計画の見直しを進めていく。
- イ 国道1号島田金谷バイパス牧の原第3トンネル下り線工事
  - ・ 1月9日に文化庁において、国交省から担当文化庁調査官、県文化財課ともに諏訪原城直下でのトンネル拡幅工事について説明を受けた内容を説明。
- ウ 枯木や倒木、除草作業
  - ・ しよんた塾に曲輪等平坦地の枯木及び倒木の整理を依頼している。
- エ 観光ボランティアの育成
  - ・ 今後、島田市観光協会と諏訪原城の専門観光ボランティア制度の仕組みを検討する。

### (欠席委員からの事前質問・意見)

- ・ 整備報告書に関しては、事務局に河後森城跡を参考にしようアドバイスをしている。内容に関しては、今後事務局と打合せをしながら次回の整備委員会にたたき台を提示できるように指導する。
- ・ 国交省のバイパス工事に関しては、単独で解決できるような案件ではないが、市として主張すべきところはしっかり訴えてほしい。

(委員からの質問・意見 1)

- ・この場合、現状変更にあたるのではないか。国内で史跡の下に道路が通された事例はあるのか？

(事務局の回答 1)

- ・文化庁調査官からは、現状変更に該当する案件であると聞いている。事例については、確認する。

(委員からの質問・意見 2)

- ・本来史跡は、避けるべきである。国交省には、諏訪原城が悪い先行事例とならないよう管理団体として言うべきことは伝えてほしい。

(事務局の回答 2)

- ・1月9日の打合せでは、国交省には以下の点を文化財所管行政側から伝えている。
  - ① 計画決定時の経緯の確認
  - ② 代替案の検討（史跡から外れた路線）
  - ③ 工法の検討（トンネル工事の詳細内容の提示）
  - ④ 影響調査の実施（カンカン井戸など周辺の水脈への影響）
  - ⑤ 工事による史跡整備箇所への影響があった場合の補償

※報告事項に関しては、国道1号線バイパス工事に関しては進捗状況を委員会で報告すること、それ以外の内容に関しては承認された。

《協議事項》

1 令和8年度史跡整備事業について（説明:事務局）

- ・令和8年度は大手北外堀と二の曲輪中馬出の園路整備を行う。
- ・大手北外堀に関しては、堀の奥側からおよそ30m整備する。内容は、木の伐採及び切り株の除去、土砂による法面の整備を行う。
- ・園路整備は、前年度と同様の手法で整備する。

(委員からの事前質問・意見)

- ・整備の内容については問題ない。継続的に史跡整備事業を実施していくことが重要である。

	<p>(委員からの質問・意見 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成はいつ頃になるか</li> </ul> <p>(事務局からの回答 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算次第とはなるが、4年かかる計算となる。</li> </ul> <p>(委員からの質問・意見 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手北外堀の整備について、堀は空堀だと思うが、もし大雨が降った時などの水はけについて何か対策はしているか。</li> </ul> <p>(事務局からの回答 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪原城は大雨が降ったとしても、自然に水が浸透するため、特に対策しなくても問題はない。</li> <li>・二の曲輪の堀の下の方に少し水がたまることはあるが、それ以外ではほとんど見たことがないため、大丈夫だと思う。</li> </ul> <p>※協議事項は、委員会で承認された。</p>
提出された資料等	<p>【資料 1】令和 8 年度 諏訪原城跡事業計画について</p> <p>【資料 2】島田金谷バイパストンネル工事協議に関する資料</p> <p>【資料 2】島田市文化財保存活用地域計画【抜粋】</p> <p>【資料 2】自己点検表 (案)</p> <p>【資料 3】令和 8 年度史跡整備箇所 の 図 面 (大手北外堀平・断面図、園路平・断面図)</p>
会議を所管する課の名称	島田市観光文化部博物館課
その他必要な事項	